

参議院事務局職員採用専門職（衛視）試験

— 高校卒業程度 —

受験資格	平成13年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた者で次に掲げるもの a. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 b. 参議院事務局がaに掲げる者と同等の資格があると認める者		
受付期間	郵 送 6月16日(水)～7月6日(火) <u>(消印有効)</u> 申込先 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-16参議院第二別館 参議院事務局人事課任用係 ☎ 03-5521-7492		
第1次試験	8月21日(土) 試験地：東京 第1次試験 合格者発表 9月1日(水)午前10時 参議院ホームページでお知らせします。 なお、合格者のみ別途郵便で通知します。		
第2次試験	9月中旬以降のいずれか指定する日 試験地：東京 最終合格者 発 表 10月29日(金)以降 各人に可否を郵便で通知します。		
採用方法	最終合格者名を採用候補者名簿(1年間有効)に記載し、採用は名簿に記載された者の中から行います。		
採用予定数	若 干 名	採用予定期日	令和4年4月1日

本試験を受験できない者

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 国会職員法(昭和22年法律第85号)第2条の規定により国会職員となることができない者

試験の方法

試験	試験種目	内 容	解答 時間	配点 比率
第1次 試 験	基礎能力試験 (多肢選択式)	一般的知識・知能 合計40題【すべて必須解答】 社会科学(時事を含む)[7題]、人文科学[8題]、 自然科学[5題]、文章理解[6題]、 判断推理・数的推理・資料解釈[14題]	90分	$\frac{2}{4}$
	一般常識試験 (短文記述式)	一 般 常 識	40分	$\frac{1}{4}$
		作 文	60分	$\frac{1}{4}$
第2次 試 験	人物試験	個 別 面 接		
	基礎体力検査	基礎体力、腹筋力、敏しょう性、瞬発力についての検査		
	身体検査	胸部エックス線撮影、血圧測定、尿検査、 その他一般内科系検査		

- 1) 第1次試験において、基礎能力試験の成績が一定点に達しない場合、一般常識試験及び作文試験は採点の対象となりません。
- 2) 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 3) 最終合格者は、第2次試験の結果に基づいて決定します。
- 4) 身体検査については、外部の医療機関で受診をお願いする場合があります。

○基礎体力検査の内容

基 礎 体 力 … 基本の姿勢、腕手指膝の屈伸、首の運動、歩行、駆け足、腕立て伏せ、握力
 腹 筋 力 … 上体起こし
 敏 しょう 性 … 反復横跳び
 瞬 発 力 … 立ち幅跳び

次のいずれかに該当する者は不合格となります。

- ・身長が男子160cm、女子154cmに満たない者
- ・裸眼視力がどちらか1眼でも0.6に満たない者
(ただし、両眼とも矯正視力が1.0以上の者は差し支えない。)
- ・色覚に異常のある者
- ・職務遂行に支障のある身体的状態である者

衛 視 の 紹 介

- (1) 国会は、衆議院及び参議院の両院からなり、国権の最高機関、国の唯一の立法機関として法律の制定、予算の議決、条約の承認、内閣総理大臣の指名など国会としての権能を行使するほか、両議院は、それぞれの立場で独自に国政に関する調査や、請願の受理、審査などの議院活動を行っています。
- (2) 参議院事務局(職員数約1,200名)のうち、警務部には約200名の衛視が勤務し、国会議事堂及び議員会館の警備、秩序の維持に当たっています。

▷身分及び職務等

身分：国会職員(特別職国家公務員)として保障され、服務分限等も行政官庁の国家公務員と同様となっています。

職務：国会議事堂において参議院議長の指揮下にあつて、議院内部の警察を行うことを本務としています。すなわち、本会議・委員会等の警備、議長・副議長・政府要人・外国の賓客等の警護及び参観案内・防災消防業務に当たっています。

＊「参議院衛視採用案内パンフレット」は、参議院ホームページから御覧になれます。

(<https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/saiyou/shokuin6p.html>)

階級：衛視長・衛視副長・衛視班長・衛視に分かれており、本人の努力で上位の階級に昇進することができます。

勤務：原則として交替制であり、日勤と夜勤(8日に1回)があります。

▷給与等

(イ) 初任給(令和3年2月1日現在の制度に基づく場合)

高校卒：議院警察職給料表1級3号給

(給料174,000円、地域手当34,800円、計208,800円)

(ロ) その他手当として通勤手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当等が支給されます。

(ハ) 被服は、制服、外套が貸与されます。

(参考) 令和2年度 専門職(衛視)試験の実施結果

申込者数	合格者数
585	5

＊過去の問題例(一般常識試験及び作文試験)は参議院ホームページから御覧になれます。

(<https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/saiyou/shokuin4n.html>)

受験申込方法

- ・1頁に記載の受付期間内に、郵送により必要書類を提出してください。
- ・郵送の際は、封筒の表に「衛視受験」と朱書きの上、簡易書留郵便にしてください。

提出書類

＜参議院ホームページからのダウンロード版を使用しない場合＞

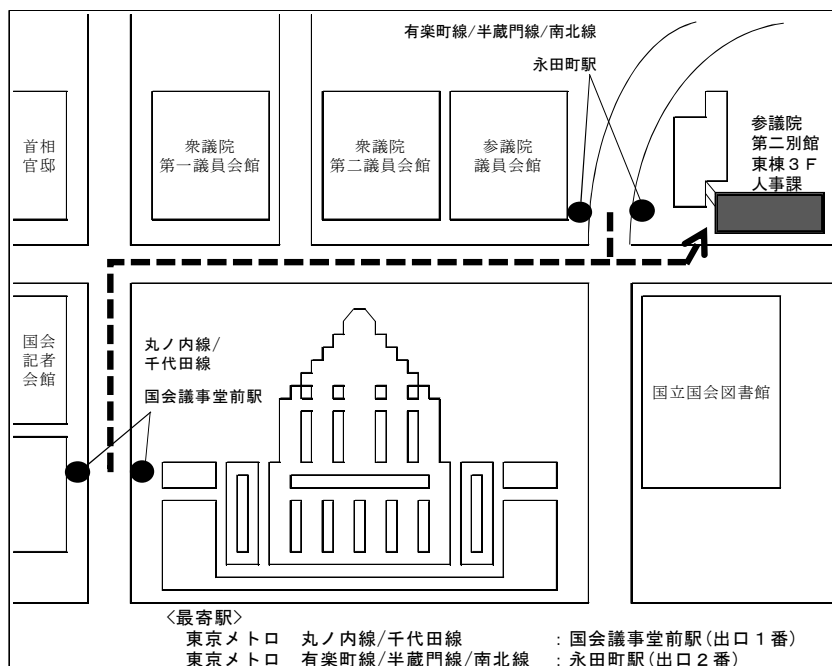
- ・受験申込書、写真票、合否通知先、受験票(切り離さないでください。万が一、切り離した場合は、そのまま御提出いただいても構いませんが、不足がないよう御注意ください。)
- ・合否通知先、受験票にある氏名欄の「様」は消さないでください。
※受験申込書、写真票には、**写真各1枚(計2枚)を貼付すること**
※受験票には、はがきに必要な**切手(63円分)を貼付すること**

＜参議院ホームページからのダウンロード版を使用する場合＞

- ・参議院ホームページに掲載の「**ダウンロード用書類作成・提出要領**」に従ってください。
(<https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/saiyou/bosyuuyoukoudl.html>)

注意事項

- ・専門職(衛視)試験、一般職試験又は一般職(技術)試験のうち2つ以上の試験に申込みをした場合は、いずれの試験も受験できなくなりますので、御注意ください。
- ・受験に際し、車いす等を使用される方、又は、身体に障害があるため特に何らかの措置を希望される方は、**あらかじめ受験申込時にその旨を申し出てください。**
- ・提出書類の記載事項不備、写真・切手の不備等がある場合には、**受験申込みを受理できません**ので、十分注意してください。
*特に、**写真を2か所に貼る必要があること、写真票・合否通知先・受験票を必ず同封すること**などに注意して、提出前に書類をもう一度確認してください。
- ・書き間違いの場合は、**二重線で削除し訂正印を押印する等の方法で訂正してください。**
(新たに受験申込書等を請求する必要はありません)
- ・受験票は、7月27日(火)ごろ発送します。8月5日(木)までに到着しないときは、人事課任用係へ問い合わせてください。
- ・新型コロナウイルス感染症をめぐる状況変化等により、試験内容を含め試験実施に変更が生じた場合は、参議院ホームページでお知らせしますので随時御確認ください。
(<https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/saiyou/index.html>)



＜採用試験に関する問合せ先＞

参議院事務局人事課任用係

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-16

参議院第二別館

☎ : 03 - 5521 - 7492

e-mail : jinjika@sangiin-sk.go.jp

URL :

<https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/saiyou/index.html>